

○ 区内の犯罪発生状況について 【講師：碑文谷警察署 石井生活安全課長】

1 侵入窃盗について

- ・ 令和6年上半期の侵入窃盗は19件発生しているが、その約半数は合鍵利用である。件数は少ないといえるが、無施錠の窓やドアから侵入される被害が数件発生している。
- ・ 家の中にいたとしても、2階にいる時に1階の戸締りをしなかったために泥棒に入られたという事例もあることから、被害に遭わないためには、留守中だけでなく在宅中も戸締りをすることが重要である。

2 自転車盗について

- ・ 目黒区では、ひったくりや自動車盗は発生していないが、最も多く発生しているのが自転車盗で、令和6年上半期は、昨年の上半期より12件多い212件の被害が発生している。
- ・ そのうち、約半分の54%は鍵をかけていない自転車で、被害場所で最も多いのは、一戸建てやマンションなどを含めた自宅の敷地内である。
- ・ 自転車盗の犯人には、高級な自転車を転売目的などで狙って盗む者もいるが、ほとんどの犯人は足代わりとして、鍵のかかっていない自転車を探して盗んでいる。たとえ自宅に止める場合でも、必ず鍵をかけてほしい。
- ・ 地域でパトロールをする際には、駅周辺の駐輪場だけでなく、住宅街でも自転車を物色している者がいないか、注意して見ていただきたい。

3 特殊詐欺について

- ・ 令和6年上半期の被害は29件で、昨年の上半期より9件増加し、被害額は約4億5,000万円に上っている。また、最近では犯人のやり口が変化してきていることから、注意を要することを3点お話しする。
- ・ 1点目は、「犯人は携帯電話にアポ電をかけてくる。」ということ。これまでのアポ電は、自宅の固定電話にかかってくるものだったが、最近はスマホや携帯電話にもアポ電がかかってくるようになってきた。
- ・ 依然として自宅の固定電話へのアポ電も多いが、今後は高齢者だけでなく若者も狙われるようになる。実際に、20代の大学生がオレオレ詐欺の被害者になったケースも発生している。
- ・ また、最近多発しているのが、金融庁や警察官を騙って「あなたの口座がマネロンに悪用されている。」「資産を隠す必要がある。」などと言って、口座の現金を移転させるように仕向けて金銭をだまし取る手口である。「マネロンの容疑がかかっている。」は最近の詐欺のキーワードである。
- ・ 2点目は、「暗号資産に変えて金銭をだまし取る。」ということ。犯人は、1点目で説明した方法などで被害者を騙し、口座の資金を暗号資産に変え

て移動させることを持ち掛け、暗号資産取引アプリを使って犯人側に暗号資産を振り込ませるという手口も発生している。

- ・ また犯人が「家族などに話したら逮捕される。」などと被害者を脅迫し、誰にも相談できずに数か月にわたって騙され続けた被害者もいる。
- ・ 3点目は、「警察官を騙った犯人はライン（LINE）電話を使う。」ということ。最近、警察官を騙った犯人がラインのビデオ通話に誘導し、画面で偽の警察手帳を示すなどして、金銭を騙し取る手口が多発している。
- ・ 警察官がライン通話を業務上使用することはない。警察官を名乗る者が捜査の関係で「ラインIDを教えてくれ。」等と言ったら、それは詐欺である。
- ・ 特に若者は、インターネットやネットバンキング等に抵抗がない人が多いので、若者に対してこうした手口に注意するよう広めてほしい。
- ・ 最後に、目黒区内の街頭犯罪が少ないのは、皆様方が地域でパトロールをして、街に目を光らせてくれているおかげである。警察も治安責任を果たすために全力で取り組むが、地域の皆様の目と耳には勝てないので、今後とも一層のご協力を願いたい。